

三島市の進める山田川流域環境整備事業 山田川、里山復活を目指して!

三島フォレストクラブ、勤労協などのボランティア団体が協力



<三島勤労協の竹林整備の取り組み3月>

山田川は、箱根西麓の森林に源を発し、その清流は、流域の田や畑を潤し、大場川、そして狩野川に合流する一級河川。流域には急峻な山間を開拓した棚田や段々畑、四季を彩る広葉樹林、竹林、また、豊かな湧水など、日本の農村の昔の風景、自然環境が色濃く残されている。しかし、豊かな自然環境も農業従事者の高齢化などから、遊休農地化が進み、自然豊かな里山環境の荒廃が進みつつある。(三島市ホームページから)

この山田川流域環境整備事業は平成十八年度から市の事業として始められた。年々自然環境が悪化し、懐かしい里山の情景が消えていく中、平成十六年頃、市民からの提案で始められた事業だ。平成十八年度から三年

計画で取り組まれていて、総額一・九億円で、三島市自然の家、三島少年自然の家、下の谷を流れるこの山田川流域の里山を復活させる事業が始まって二年目。この事業は里山を復活させる市民の安らぎの場や、子供達の自然観察の場、自然の回復に役立つという取り組みだ。

この整備事業には、計画が実施された当初より、三島市内の二つのボランティア団体が協力している。一つは三島フォレストクラブ、もう一つは三島勤労協だ。

三島フォレストクラブは平成十四年末に立ち上げた会で、会長は宇尾正久さん(東町)。会の目的は三島の森林を健全に保つこと。現在、会員は四六七人、この流域の放置水田や竹林の整備に毎月一回のペースで取り組んでいるとのこと。

勤労協は三島のコンビナート反対闘争があった。昭和三十年末頃、コンビナート反対運動も含め、地域の勤労者の生活向上を目的に作られた会だ。その後引き継いでいる。現在、会長は木内光夫さん(梅名)、この会も主に竹林整備等に取り組んでいる。

市の担当者の話では、平成十九年度の事業内容は、道路改良事業、農園

スクールガードの活躍に期待(上)

子供を守る正義の味方

徳倉 若士郎

北小学校区SGの前は、芙蓉台自治会の有志がボランティアとして活動が盛んな北小学校区SGにスポットを当ててみた。

静岡県教育委員会の指導のもと、昨年から市内の各小学校区単位で始まったボランティア組織だ。主に児童の下校時間に、通学路の要所での交通指導や校区的パトロールを行っている。今回は活動が盛んな北小学校区SGにスポットを当ててみた。

北小学校区SGの前は、芙蓉台自治会の有志がボランティアとして活動が盛んな北小学校区SGにスポットを当ててみた。

これらの活動を受けて芙蓉台自治会の有志が校区内をパトロールし始めた。その様子は真剣なものである。しかし、いくら熱意ある有志とはいえ、数人だけで校区内全てをパトロールするのは不可能であり、個々の負担も決して軽くはない。継続の

この整備事業には、計画が実施された当初より、三島市内の二つのボランティア団体が協力している。一つは三島フォレストクラブ、もう一つは三島勤労協だ。

三島フォレストクラブは平成十四年末に立ち上げた会で、会長は宇尾正久さん(東町)。会の目的は三島の森林を健全に保つこと。現在、会員は四六七人、この流域の放置水田や竹林の整備に毎月一回のペースで取り組んでいるとのこと。

勤労協は三島のコンビナート反対闘争があった。昭和三十年末頃、コンビナート反対運動も含め、地域の勤労者の生活向上を目的に作られた会だ。その後引き継いでいる。現在、会長は木内光夫さん(梅名)、この会も主に竹林整備等に取り組んでいる。

市の担当者の話では、平成十九年度の事業内容は、道路改良事業、農園

三島大社前の南に向かう道路の右手に「あんりえっと」という小さな喫茶店がある。

マスターは六〇歳前後、昭和四五年頃からの店を構えているという。元々は浜松出身だが、以前は奥さんの両親が下駄屋さんを営んでいたが、その後、喫茶店を始めたとのこと。喫茶店の名前の由来は、フランクの作家バルザックの小説に登場する女性の名前から取ったという。バルザックは「大のコーヒー好き」だ。

街中に喫茶店は沢山あつて、多くの若者が出入りしていた。学生街の喫茶店「メロデー」が聞こえてきそう、この店はそんな当時からある。

珈琲に想いをこめた店で

喫茶店「あんりえっと」

シリーズ 街中の喫茶店

七〇年代は街中に喫茶店は沢山あつて、多くの若者が出入りしていた。学生街の喫茶店「メロデー」が聞こえてきそう、この店はそんな当時からある。

珈琲に想いをこめた店で

自然派ママたちの座談会

IN 成真寺

小さい子どもを連れながら、さまざまなことを学んでいこうという思いを込めて毎月座談会を開いています。お寺の本堂で講師を招き、座談会を開いています。

子育てに関する環境問題や原発、戦争と平和、憲法9条のことまで幅広く学んでいます。それはすべてが一本の糸のように繋がっています。

子どもたちの未来を思うとき、どれが欠けても成り立たないほど、すべてが大切な問題であり、そして現実を知れば知るほど、差し迫った危機感を覚えるをえませんか。

私たちは第二ベビブーム世代です。私たちが現状に対してもっとも大きな声をあげれば、きっと未来が変わる。ぐらいいの力になるはず。しかし、残念ながら氾濫する情報や、錯綜する社会状況に惑わされている気がします。そして何よりも見せかけだけの平和や生活にあまえず、実際におこっている現実を知

十一月五日(金) 野口整体
十一月八日(木) 宮本摩知さん
十一月十一日 原野震災を防ぐ風下の会
古長谷穂さん
十一月十日(水) 自然派ママ大橋俊弘さん

自然派ママたちの座談会

IN 成真寺

小さい子どもを連れながら、さまざまなことを学んでいこうという思いを込めて毎月座談会を開いています。お寺の本堂で講師を招き、座談会を開いています。

子育てに関する環境問題や原発、戦争と平和、憲法9条のことまで幅広く学んでいます。それはすべてが一本の糸のように繋がっています。

子どもたちの未来を思うとき、どれが欠けても成り立たないほど、すべてが大切な問題であり、そして現実を知れば知るほど、差し迫った危機感を覚えるをえませんか。

私たちは第二ベビブーム世代です。私たちが現状に対してもっとも大きな声をあげれば、きっと未来が変わる。ぐらいいの力になるはず。しかし、残念ながら氾濫する情報や、錯綜する社会状況に惑わされている気がします。そして何よりも見せかけだけの平和や生活にあまえず、実際におこっている現実を知

楽々パソコン教室のご案内

毎週水曜日、生涯学習センター5F(パソコン室) 午後7時~8時半 月4千円、1回1000円

【個別指導対応】

ワード、エクセル、デジカメ、画像処理、ホームページ作成等

連絡先: 055-986-1301(勝俣)

三島児童文学を語る会 (349回)

12月例会のお知らせ

日時: 12月15日(土) 13:30~16:30

場所: 三島大社町防災センター 研修室

テキスト: 昭和16年12月8日(開戦の日)

この当時から記憶されている方はメモ程度でも結構ですから事務局にお届けください。当日会場に持参でも結構です。

「少年H 上」妹尾河童著(講談社)

「ぼんぼん」「兄貴」今江祥智著(理論者)

「二つの国の物語 第二部」赤木由子著(理論者)

上記の本、長編ですがこの中にこの日の描写があります。古い出版ですが、図書館などで読まれると、作家がどんな風に捉えたかが分かります。

連絡先: 三島市中央町8-8 山口 電話: 971-3348

楽々パソコン教室のご案内

毎週水曜日、生涯学習センター5F(パソコン室) 午後7時~8時半 月4千円、1回1000円

【個別指導対応】

ワード、エクセル、デジカメ、画像処理、ホームページ作成等

連絡先: 055-986-1301(勝俣)

12月18日(土) PM 6:40

講演会:『改憲問題とマスコミ』

講師: 西崎淳一郎氏(元毎日新聞常務取締役)

会場: 本町タワービル 4F

共催: みしま憲法9条の会、みしま中部憲法9条の会、三島市市民講座、三島・田方憲法9条の会

連絡先: 975-1349 福尾 973-1189 栗原
971-3348 山口 971-3549 渡辺

入場無料 参加者自由 飛び込み参加歓迎

自然派ママたちの座談会 特別講演会

クマともりとひと

森を残し、全生物が共存しなければ、人間も生き残れない

12月8日(土) 10:00~11:30

三島市民文化会館小ホール

森林保全にかける学生たちの熱い想い

講師: 森山まり子氏(日本熊森協会会長)

参加費: 前売り800円 当日1000円

高校生以下 無料 連絡先: 090-1832-8878

新聞発行継続についてカンパのお願い

紙代は無料。ただし、カンパの頂ける方は一口、年千円(月一回、年十二回を責任を持って配布)。尚、広告料は二コマ、月千円。広告希望者は連絡を 九八八-一九六